

入賞(震災復興特別賞)

津波地域最前線に癒し空間を～全壊被災校プロデュースによる共栄自立への道～



【活動のねらい】 校舎に甚大な被害をもたらした、あの津波でも桜は少し残りました。昨年、桜が咲いたという情報は、それでも学び始めなければならなかった私たちにたちまち伝わり、勇気と感動を与えました。私たちは先輩たちが復興桜として残したいとの思いを引き継ぐとともに地域にも注目しました。しかし、地域では事態は予想以上に深刻でした。

今の環境で桜は育つと思いますか？皆さん！

例えば風の影響、今年5月、地域に行ったアンケートからわかったことは前より強くなったことです。仙台東部道路の東側では、内陸部が満開の日でも5分咲き以下です。桜の耐塩性も5段階の4、「やや弱い樹種」に属し、気になります。

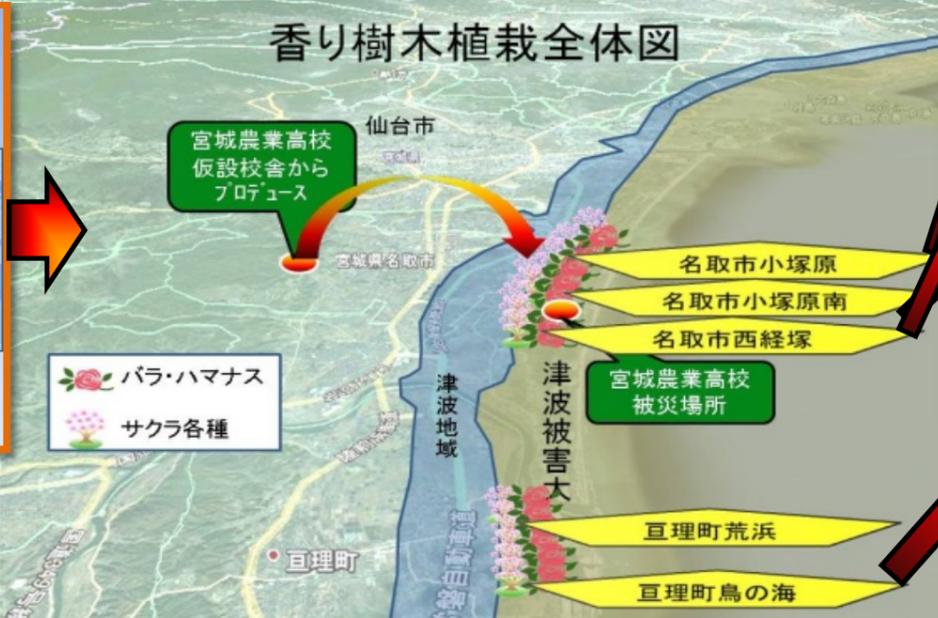
しかし、歴史的には伊豆半島にたきぎ用として暮らしに溶け込んだ記録があり、生育の速さが注目されたのでした。防風林の主要植物クロマツに比べ約十倍という速さです。

そこで、防風としての目的のほか、殺伐とした風景に癒しを創出するための、暮らしを立て直すための素材の1つとして着目し、「共栄自立(造語)」の名のもと、研究をスタートさせました。

そんな中、桜を虫がつきやすいなどの理由で植えるのを嫌がる人もおり、第2、第3の樹木として土壌塩害にも潮風害にも強い、香り高い「ハマナス」と「バラ」を選定しました(3月植栽予定)。

□□アピールポイント□□

- 1 津波全壊被災校、宮城県農業高校が復興するために私達生徒が地域と一緒に
行うプロジェクトである。
- 2 桜を咲かせることへの人々の色々な想いと周りに緑がなくなってしまいさびしいという声で始まった緊急企画である。
- 3 ただいま開発中の宮城式方法で香り樹木の植え方や管理方法をプロデュース。



植栽明細表

地区名	公共地(箇所)	私有地(箇所)	サクラ本数	ハマナス本数	バラ本数
名取市小塚原	1	7	28	28	28
名取市小塚原南	2	3	21	10	10
名取市杉ヶ袋南(西経塚)	2		60	20	
名取市杉ヶ袋南		70		70	70
巨理町荒浜5丁目	1		3	5	5
巨理町荒浜隈湯		3		6	6
巨理町鳥の海(吉田)	1		28	100	30
(合計)	7	83	146	239	149

樹木合計 534本

【企画者】 宮城県農業高等学校科学部

【共同企画団体】

○名取市小塚原	代表 三浦 利昭 (区長)	○名取市小塚原南	代表 遠藤 直 (区長)
○名取市杉ヶ袋南(西経塚)	代表 佐藤 哲敏 (区長)	○巨理町	代表 斎藤 邦男 (町長)
○巨理町荒浜5丁目婦人の会	代表 永浜由紀子 (会長)	○巨理町希望桜の会	代表 森 一男
○大河原町さくらの会	代表 大浦 利昭 (会長)		